

熊本高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	英語II
科目基礎情報					
科目番号	0034		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 4	
開設学科	建築社会デザイン工学科		対象学年	2	
開設期	通年		週時間数	4	
教科書/教材	『Perspective English Expression II New Edition』『Perspective English Expression II WORKBOOK』(以上第一学習社), 『CNN Workbook Intensive Course 2020』(朝日出版社)『英単語・熟語 Bricks 1』, 『英単語・熟語 Bricks 1 定番サポートノート1・2・3』(以上いずれも書店)				
担当教員	関 文雄,Ambrose Richard				
到達目標					
1. 2年次に学習する語彙・文法事項について習得し、それを運用することができる。 2. 英文を聞いて、あるいは読んで、大意をとらえ、情報や考えを的確に理解することができる。 3. 内容を理解した英文について、発音等に留意しながら口頭で表現し、その内容を英語で書くことができる。 4. コミュニケーション活動において他者を意識して積極的に取り組むことができる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
英語運用の基礎となる知識に関する評価	新出の語彙・文法を習得して、適切に運用することができる。		新出の語彙・文法を習得して、運用することができる。		新出の語彙・文法を習得できない。
英語理解の能力に関する評価	英文を聞き、あるいは読み、大意をとらえ、情報や考えを整理して理解することができる。		英文を聞き、あるいは読み、大意をとらえ、情報や考えを的確に理解することができる。		英文を聞いても、あるいは読んでも、大意をとらえることができない。
英語表現の能力に関する評価	内容を理解した英文について、聞き手に伝わるように適切な発音やリズム・イントネーションで表現することができる。また、その内容を読み手に分かりやすい適切な英語で書くことができる。		内容を理解した英文について、聞き手に伝わるような発音やリズム・イントネーションで表現することができる。また、その内容を読み手に分かりやすい英語で書くことができる。		まとまりのある英文について、発音やリズム等に留意しながら音読したり、その内容を英語で表現したりすることができない。
コミュニケーションへの関心・意欲・態度に関する評価	授業でのコミュニケーション活動やスピーチなどの発表活動に積極的に取り組むことができる。		授業でのコミュニケーション活動やスピーチなどの発表活動に取り組むことができる。		授業でのコミュニケーション活動やスピーチなどの発表活動に取り組むことができない。他者に迷惑をかける。
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	英語Ⅱは、英語Ⅰに引き続き、本校における英語学習の基礎固めであり、さらには卒業後に必要とされる英語力の習得に向けて、総合的にかつ発展的に英語の知識と4技能（聞く・読む・話す・書く）を学ぶ科目である。				
授業の進め方・方法	授業では、基礎的・基本的事項の定着を目指し、様々なペアワーク・グループワークのコミュニケーション活動を行う。また、基礎的な語彙力強化を狙った単語テストを課す。加えて、既習事項の定着と自発的な学習習慣の確立を目指し、リーディング/リスニング/ライティングなどに関して様々なパフォーマンステストを課す。さらに、外国の文化・習慣に対する理解を深め、より広い視野で物事を捉えることも期待する。				
注意点	・授業には必ず予習・復習をして臨むこと。 ・単語テスト、パフォーマンステスト、提出課題に関しては、事前の指示のもとに、計画的かつ自主的に取り組むこと。 ・その他にも、TV やラジオ、インターネット、映画、音楽など、興味・関心に合わせた自主的・自発的な学習も期待する。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス 『Perspective English Expression Ⅱ』Lesson 1, Lesson16	完了形と進行形, 「予定・計画」の表現などの学習した表現を用いた文や自分の考えなどを英語で書こうとする。パラグラフの構造を学習し, 適切な構造のパラグラフを書いたり, 構造を確認しながら英語の文章を読んだりすることができるようにする。	
		2週	『Perspective English Expression Ⅱ』Lesson 2, Lesson 16	動詞と文型, 「期待／意図／予測」の表現などの学習した表現を用いた文や自分の考えなどを英語で書こうとする。パラグラフの構造を学習し, 適切な構造のパラグラフを書いたり, 構造を確認しながら英語の文章を読んだりすることができるようにする。	
		3週	『Perspective English Expression Ⅱ』Lesson 3, Lesson 16	受動態, 「希望／願望」の表現などの学習した表現を用いた文や自分の考えなどを英語で書こうとする。パラグラフの構造を学習し, 適切な構造のパラグラフを書いたり, 構造を確認しながら英語の文章を読んだりすることができるようにする。	
		4週	『Perspective English Expression Ⅱ』Lesson 4, Lesson 17	助動詞, 「目的」の表現などの学習した表現を用いた文や自分の考えなどを英語で書こうとする。パラグラフ内の文の関係のうち「時間配列」「空間配列」に基づくものについて学習し, それらの関係を含むパラグラフを書いたり, 文と文の関係を確認しながら英語の文章を読んだりすることができるようにする。	
		5週	『Perspective English Expression Ⅱ』Lesson 5, Lesson 17	不定詞, 「原因・理由」の表現などの学習した表現を用いた文や自分の考えなどを英語で書こうとする。パラグラフ内の文の関係のうち「時間配列」「空間配列」に基づくものについて学習し, それらの関係を含むパラグラフを書いたり, 文と文の関係を確認しながら英語の文章を読んだりすることができるようにする。	

		6週	『Perspective English Expression II』 Lesson 6, Lesson 17	使役動詞・知覚動詞, 「必要／義務」の表現などの学習した表現を用いた文や自分の考えなどを英語で書こうとする。パラグラフ内の文の関係のうち「時間配列」「空間配列」に基づくものについて学習し, それらの関係を含むパラグラフを書いたり, 文と文の関係を確認しながら英語の文章を読んだりすることができるようにする。	
		7週	『Perspective English Expression II』 Lesson 7, Lesson 18	意味上の主語, 「推測／可能性」の表現などの学習した表現を用いた文や自分の考えなどを英語で書こうとする。パラグラフ内の文の関係のうち「原因」「結果」に基づくものについて学習し, それらの関係を含むパラグラフを書いたり, 文と文の関係を確認しながら英語の文章を読んだりすることができるようにする。	
		8週	『Perspective English Expression II』 Lesson 8, Lesson 18	分詞構文・付帯状況の表現, 「確信」の表現などの学習した表現を用いた文や自分の考えなどを英語で書こうとする。パラグラフ内の文の関係のうち「原因」「結果」に基づくものについて学習し, それらの関係を含むパラグラフを書いたり, 文と文の関係を確認しながら英語の文章を読んだりすることができるようにする。	
	2ndQ	9週	中間試験 『Perspective English Expression II』 Review (Lessons 1-4), Lesson 18	パラグラフ内の文の関係のうち「原因」「結果」に基づくものについて学習し, それらの関係を含むパラグラフを書いたり, 文と文の関係を確認しながら英語の文章を読んだりすることができるようにする。	
		10週	『Perspective English Expression II』 Lesson 9, Lesson 19	形式主語・形式目的語, 「好き／嫌い」の表現などの学習した表現を用いた文や自分の考えなどを英語で書こうとする。パラグラフ内の文の関係のうち「列挙」「例示」に基づくものについて学習し, それらの関係を含むパラグラフを書いたり, 文と文の関係を確認しながら英語の文章を読んだりすることができるようにする。	
		11週	『Perspective English Expression II』 Lesson 10, Lesson 19	後置修飾, 「喜び／怒り／驚き」の表現などの学習した表現を用いた文や自分の考えなどを英語で書こうとする。パラグラフ内の文の関係のうち「列挙」「例示」に基づくものについて学習し, それらの関係を含むパラグラフを書いたり, 文と文の関係を確認しながら英語の文章を読んだりすることができるようにする。	
		12週	『Perspective English Expression II』 Lesson 11, Lesson 19	仮定法, 「心情／同情」の表現などの学習した表現を用いた文や自分の考えなどを英語で書こうとする。パラグラフ内の文の関係のうち「列挙」「例示」に基づくものについて学習し, それらの関係を含むパラグラフを書いたり, 文と文の関係を確認しながら英語の文章を読んだりすることができるようにする。	
		13週	『Perspective English Expression II』 Lesson 12, Lesson 20	前置詞, 「後悔・残念」の表現などの学習した表現を用いた文や自分の考えなどを英語で書こうとする。パラグラフ内の文の関係のうち「比較」「対照」に基づくものについて学習し, それらの関係を含むパラグラフを書いたり, 文と文の関係を確認しながら英語の文章を読んだりすることができるようにする。	
		14週	『Perspective English Expression II』 Review (Lessons 5-10), Lesson 20	パラグラフ内の文の関係のうち「比較」「対照」に基づくものについて学習し, それらの関係を含むパラグラフを書いたり, 文と文の関係を確認しながら英語の文章を読んだりすることができるようにする。	
		15週	定期試験		
		16週	答案返却		
	後期	3rdQ	1週	『Perspective English Expression II』 Lesson 13, Lesson 20	副詞, 「結果／程度」の表現などの学習した表現を用いた文や自分の考えなどを英語で書こうとする。パラグラフ内の文の関係のうち「比較」「対照」に基づくものについて学習し, それらの関係を含むパラグラフを書いたり, 文と文の関係を確認しながら英語の文章を読んだりすることができるようにする。
			2週	『Perspective English Expression II』 Lesson 14, Lesson 21	比較, 「条件／仮定」の表現などの学習した表現を用いた文や自分の考えなどを英語で書こうとする。パラグラフ内の文の関係のうち「要約」「言い換え」「付加」「強調」に基づくものについて学習し, それらの関係を含むパラグラフを書いたり, 文と文の関係を確認しながら英語の文章を読んだりすることができるようにする。
			3週	『Perspective English Expression II』 Lesson 15, Lesson 21	名詞, 「譲歩／様態」の表現などの学習した表現を用いた文や自分の考えなどを英語で書こうとする。パラグラフ内の文の関係のうち「要約」「言い換え」「付加」「強調」に基づくものについて学習し, それらの関係を含むパラグラフを書いたり, 文と文の関係を確認しながら英語の文章を読んだりすることができるようにする。
			4週	『Perspective English Expression II』 Review (Lesson 11-15), Lesson 21	パラグラフ内の文の関係のうち「要約」「言い換え」「付加」「強調」に基づくものについて学習し, それらの関係を含むパラグラフを書いたり, 文と文の関係を確認しながら英語の文章を読んだりすることができるようにする。
			5週	『Perspective English Expression II』 Review (Lesson 1-15), Lesson 22	パラグラフの集まったものとしてのエッセイの構造を学習し, 適切な構造のエッセイを書いたり, エッセイとしての構造を確認しながら英語の文章を読んだりすることができるようにする。

		6週	『Perspective English Expression II』 Review (Lesson 1-15), Lesson 22	パラグラフの集まったものとしてのエッセイの構造を学習し、適切な構造のエッセイを書いたり、エッセイとしての構造を確認しながら英語の文章を読んだりすることができるようにする。
		7週	『Perspective English Expression II』 Review (Lesson 1-15), Lesson 22	パラグラフの集まったものとしてのエッセイの構造を学習し、適切な構造のエッセイを書いたり、エッセイとしての構造を確認しながら英語の文章を読んだりすることができるようにする。
		8週	中間試験 『Perspective English Expression II』 Lesson 23	プレゼンテーションで使用する表現例を読み取る。プレゼンテーションの概要について理解する。プレゼンテーションで使用する表現例について理解する。
	4thQ	9週	『Perspective English Expression II』 Lesson 23	プレゼンテーションで使用する表現例を読み取る。プレゼンテーションの概要について理解する。プレゼンテーションで使用する表現例について理解する。
		10週	『Perspective English Expression II』 Lesson 24	プレゼンテーションで使用する表現例を読み取る。プレゼンテーションの概要について理解する。プレゼンテーションで使用する表現例について理解する。
		11週	『Perspective English Expression II』 Lesson 24	プレゼンテーションで使用する表現例を読み取る。プレゼンテーションの概要について理解する。プレゼンテーションで使用する表現例について理解する。
		12週	『Perspective English Expression II』 Lesson 25	プレゼンテーションで使用する表現例を読み取る。プレゼンテーションの概要について理解する。プレゼンテーションで使用する表現例について理解する。
		13週	『Perspective English Expression II』 Lesson 25	プレゼンテーションで使用する表現例を読み取る。プレゼンテーションの概要について理解する。プレゼンテーションで使用する表現例について理解する。
		14週	『Perspective English Expression II』 Review	プレゼンテーションで使用する表現例を読み取る。プレゼンテーションの概要について理解する。プレゼンテーションで使用する表現例について理解する。
		15週	学年末試験	
		16週	答案返却	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	1	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	1	前1
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	1	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	1	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	1	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	1	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	1	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	1	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	1	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	1	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	1	
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	1	
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	1	
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	1	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	2	
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	1	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	1	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	1	
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	1	

				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	1	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	1	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	1	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	1	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	1	
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディールランゲージなど)。	1	
	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。	1	
				チームで協調・共同するために自身の感情をコントロールし、他者の意見を尊重するためのコミュニケーションをとることができる。	1	
				当事者意識をもってチームでの作業・研究を進めることができる。	1	
				チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる。	1	

評価割合				
	試験	課題A	課題B	合計
総合評価割合	30	30	40	100
基礎的能力	30	30	40	100
専門的能力	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0